

事務事業名	農業行政システム電算処理事業				担当	産業環境部 農政課 農政係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			電話番号	0285 - 83 - 8137		
施策名	01	農業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成2 年度～）		
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1農業費	1農業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	農政課で独自に管理する農地情報をもとに各農家ごとの水田情報を整備し、農業者ごとの水稲生産面積（生産調整面積）の配分計算、各種帳票の打ち出しの実施。また、各農業者の筆単位に水稲生産面積の入力を行い、生産調整実施状況の把握・管理を行ってきた。19年度からは、水田情報の整備は引き続き行うが、個人情報保護審査会の承認を受け、農家の農地情報を提供することにより、配分計算、水稲生産面積の入力、生産調整実施状況の把握は真岡市水田農業推進協議会が行うことになった。平成21年度は、市町合併により対象件数が増加した。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 22年度実績 水田情報（農地の移動情報）の一元化による水田台帳の整備 水稲生産数量及び水稲作付面積の配分水稲生産実施計画書の入力 23年度計画 22年度に同じ	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
ア	水田台帳出力戸数	戸	3,450	3,450	4,991	4,977	4,806
イ	水田台帳出力筆数	筆	28,139	27,346	39,798	37,537	37,106
ウ							
エ							
オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 農業者ごとの水田情報	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
ア	農家戸数	戸	3,450	3,450	4,991	4,977	4,806
イ	水田筆数	筆	28,139	27,346	39,798	37,537	37,106
ウ							
エ							
オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 税務課、農業委員会と連携を図り、水田情報を管理し、効率的に処理し、水稲作付状況（生産調整実施状況）を把握する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
ア	入力農家戸数÷対象農家数	%	100	100	100	100	100
イ	入力筆数÷総水田筆数	%	100	100	100	100	100
ウ							
エ							
オ							
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 水田農業構造改革の着実な推進	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
ア	生産調整達成率	%	101.1	98.9	100.6	100.0	100.0
イ							
ウ							
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,955	1,950	2,249	674	0	
	事業費計(A)	千円	1,955	1,950	2,249	674	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0
		延べ業務時間	時間	720	720	720	720	0
		人件費計(B)	千円	3,016	3,008	2,920	3,073	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,971	4,958	5,169	3,747	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	各課の農地情報は、個別管理であるため内容が様でなく、かつ農地の移動等に対応することが困難であることから、農地情報の一元化と事務の合理化を図るため、平成2年にシステムを構築した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	国は、需要に応じた米の計画的生産を推進するため、平成16年度から、これまでの生産調整目標面積の配分から米の生産目標数量の配分に変更し、平成19年度からは、農業者・農業者団体が主体的に取り組む新たな米の需給調整システムに移行された。 22年度米からの生産調整事務に必要な水田台帳等の作成業務等を新たな委託会社へスムーズに移行できた。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	農家から、水田情報の迅速な処理が求められている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 農業委員会との水田情報の一元化による生産調整の推進及び関係機関への正確な情報提供ができる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 水田台帳の整備は国の指導により、市が行うことになっている。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 水田情報を適正に管理し、効率的に処理することによって、作付状況を把握するものであり、適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 生産調整の推進のための事業であり効率的に実施している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 生産調整の推進のため、水田情報の一元管理は不可欠である。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の業務委託であり、これ以上の削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 正確な水田台帳の整備のための必要最小限の人件費であり、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担を求める事業に該当しない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							